

● 23日、フィラト首相のブリュッセル訪問

A. 主な動き

1. 内政

▼地方選挙の結果

[中央選挙管理委員会による結果(21日現在)]

・自治体首長選挙における政党別当選者数: 自由民主党286名、民主党:220名、共産党:203名、自由党:97名、無所属:68名、その他:23名、計897名

・県議会及び市議会選挙における政党別当選者数: 共産党434名、自由民主党301名、民主党226名、自由党129名、無所属9名、その他21名、計1,120名

▼自治体首長選挙決選投票の評価

・20日、OSCE/ODIHRは、19日の決選投票に関し、有権者の権利、自由及び立候補者の公平な条件が確保されていたが、同時に前進を確固たるものにするための更なる改革の必要性も確認された旨の声明を発表。

▼キシナウ市長選挙決選投票結果に関する動き

・21日、ヴォローニン共産党党首は、キシナウ市長選挙決選開票結果の無効化及びやり直し選挙を要求するとし、共産党は裁判所が右結果の無効を宣言するまで国会への参加をボイコットする旨発表。同日、共産党は、キシナウ中央地区裁判所に同結果の無効を求める申し立てを提出。

・23日、キシナウ中央地区裁判所は、キシナウ市長選挙決選投票開票結果を有効とし、キルトアケ候補の勝利を認定。これに対し、24日、共産党は、同決定を不服としキシナウ控訴裁判所に控訴。

▼キシナウ市議会選挙結果に関する動き

・22日、中央選挙管理委員会は、23日にキシナウ市議会選挙の票数え直しを実施する旨発表。これに対し、共産党は、同手続は深刻な違反を含んでいるとし、票数え直し中止を要求する申請をキシナウ中央地区裁判所に提出。

・22日、キシナウ中央地区裁判所は、票数え直しの延期を中央選挙管理委員会に命令。これに対し、23日、自由党は、同延期決定を不服とし、キシナウ控訴裁判所に控訴。

・23日、キシナウ控訴裁判所は、同日中のキシナウ市議会選挙の票数え直し実施を命令。一方、同日、最高裁判所は、票数え直しの延期を再度命令。

▼大統領選出に向けた動き

・17～18日、ベニス委員会は、憲法裁判所によって提出された大統領選出に関する憲法第78条解釈請求に関する審議を実施。20日、ベニス委員会は、過半数の議員の賛成による大統領選出を可能にする法律によって、憲法第78条の解釈を

変更することを認めるか否かの権限はモルドバ憲法裁判所のみが有する旨提言を発表。

▼その他

・21日、AIE代表者は、AIE評議会を開催、地方レベルにおける連合結成の基礎を築くための合意に署名を行う意向を表明、署名草案作成のための作業部会設立を発表。

・23日、共産党議員は、キシナウ市長選挙結果を不服とし、議会ボイコット。これに対し、AIE議員は、議会ボイコットをしている議員に対する罰則の制定を検討する意向を発表。

・24日、フィラト首相(自由民主党党首)は、「黒幕」はプラホドニウク議会第一副議長(民主党副党首)である旨発言。これに対し、ルプ大統領代行(民主党党首)は、フィラト首相の発言は有権者の関心を地方選挙から逸らすための試みであるとし、同発言はAIE政権の崩壊につながる可能性がある旨非難。

2. 経済

・21日、フィラト首相は、ワイン及びブドウジュースに対する2012年からの物品税廃止法案が承認された旨発表。

・22日、内閣は、闇経済や不法会計対策として、非公式に給与を支払っている雇用者への罰金を、被雇用者1人あたり6,000～10,000レイに引き上げる内閣令を採択。

・23日、内閣は、産業発展戦略導入のためのアクション・プランを採択。

・24日、ラザル副首相兼経済貿易相は、露と新たなガス価格契約締結のための交渉を近い将来に開始する旨発表。

3. 外政

▼20～22日、レアンカ外務・欧州統合相のイスラエル訪問

・20日、レアンカ外務・欧州統合相は、ペレス・イスラエル大統領と会談、二国間協力の多角化、中東平和プロセスの進展等につき協議。

・21日、レアンカ外務・欧州統合相は、リーベルマン・イスラエル外相と会談、農業、保健、省エネ分野におけるイスラエルの経験・技術のモルドバにおける導入につき協議。リーベルマン・イスラエル外相は、査証対話につき、イスラエル側は将来的な査証廃止を念頭に、モルドバ国民向けの査証手数料廃止につき説明した旨発表。

▼23日、フィラト首相のブリュッセル訪問

・フィラト首相は、マルムストローム欧州委員(内務担当)と会談、EU査証廃止に関する行動計画の第1段階実施状況に関するモルドバ政府報告書を手交。マルムストローム欧州

委員は、モルドバの改革努力に言及、欧州委員会が本年9月にもモルドバ政府によるEU査証廃止に関する行動計画の実施状況を評価する予定である旨発言。

・フィラト首相は、フィーレ欧州委員(欧州拡大・欧州近隣政策担当)と会談、EU近隣政策新戦略につき協議。フィーレ欧州委員は、モルドバの東方パートナーシップにおける積極的な活動を指摘、9月に開催予定の東方パートナーシップ・サミットにおいてモルドバが重要な役割を担うことになる旨発言。

・フィラト首相は、バルニエ欧州委員(域内市場・サービス担当)と会談、Single European Sky 合意交渉、深化した包括的FTA合意交渉等につき協議。

・フィラト首相は、欧州人民党大会の枠組みにおいて、トスク・ポーランド首相と個別会談、モルドバの欧州統合プロセス、9月に開催予定の東方パートナーシップ・サミット等につき協議。

▼その他

・20日、EU外務理事会は、モルドバ・EU間の深化した包括的FTA創設に関する交渉開始マンデートの欧州評議会への付与を承認。

4. 沿ドニエストル

▼21日、「5+2」非公式協議の開催(於モスクワ)

・20日、ルプ大統領代行は、モルドバは沿ドニエストル問題

解決に関する「5+2」者公式交渉の再開を望んでいる旨コメント。一方、沿ドニエストル「外務省」は、「5+2」者非公式協議に関し、4月に達成されていた合意を実質的な内容で満たすための具体的な前進が一切なされていない旨モルドバ政府を非難する声明を発表。

・21日、モスクワにて「5+2」者非公式協議が開催。モルドバ政府は、沿ドニエストルの代表団の柔軟性に欠ける立場により公式交渉再開に関する決定を採択することは出来ず、交渉ラウンドを中断することで合意した旨発表。一方、沿ドニエストル「外務省」は、モルドバ政府は建設的な諸作業を拒否している旨指摘、協議は9月に再開される可能性がある旨発表。

・22日、ルプ大統領代行は、9月の協議において公式交渉が再開される可能性に期待する旨発言。23日、カルポフ国家再統合問題担当副首相は、モルドバは前提条件を設けない速やかな公式交渉再開を希望する旨発言。

▼その他

・24日、フィラト首相は、技術的問題において合意が得られ次第、沿ドニエストルを通過する鉄道路線が再開出来る見込みと発言。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。
(了)